

令和4年度 御幸小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

自ら学び 自他のよさを生かし合いながら たくましく生き抜く児童の育成
【合言葉】 かしこく やさしく たくましく 笑顔いっぱい みゆきっ子
 ・**【確かな学力】** 自ら考え学び合う子
 ・**【豊かな心】** 自他のよさを認め合う子
 ・**【健やかな体】** 健康でねばり強い子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

【めざす学校像】
 ・ 児童が安心して登校し、自ら学び、ともに活動する楽しさを味わえる学校
 ・ 教職員がチームとして高め合いながら、児童の成長を喜び合える学校
 ・ 保護者や地域が、地域の学校として誇りに思える学校

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

【鬼怒地域学校園教育ビジョン】
 ～自分でよく考え 未来に向かって たくましく生きる子供の育成～

- (1) 教育目標の具現化並びに学力調査の結果を踏まえて課題を明確にし、授業改善や地域資源を活用した創意ある教育活動の展開とカリキュラム・マネジメントによる質的向上を図る。
- (2) 「知識及び理解」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性」をバランスよく育むため、発達の段階や個に応じて各教科等での資質・能力を明確にして育成する。
- (3) 個々の児童の学びを支える言語能力や情報活用能力、将来に向けたキャリア発達等を促すため、各教科等との関連を明確にし、教科等横断的な視点から資質・能力の向上を図る。
- (4) 教員の授業力や学級経営力、教職員のICT活用力の向上を図り、チーム力を高める。
- (5) 校内の業務の適正化や教職員の時間管理等に努め、働き方改革を推進する。

4 教育課程編成の方針

- ・ 児童の主体的な態度を育むため、キャリア教育との関連を図り、「なりたい自分になろう！みゆきっ子パワーアッププロジェクト」として推進する。その際に、学校全体の共通目標を設定する。

【共通目標】 ・自ら考え学び合う子：聞く・話す
 ・自他のよさを認め合う子：あいさつ、自他のよさ
 ・健康でねばり強い子：運動・健康

- ・ 自己肯定感の向上、多様性を認め合う学級集団づくりと主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の双方から学力向上に取り組む。
- ・ 言語活用の充実やICTの活用を進め、授業改善に努めるとともに、社会との関連を図りながら問題発見・解決能力等の育成を図り、学習の基盤としての資質・能力の向上に努める。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

(1) 学校経営

- ・ 児童の学びの基盤である言語能力の育成やICTの効果的な活用、キャリア発達等については、各教科等の特質を踏まえた位置づけや重点化を図って育成する。

(2) 学習指導

- ・ 学習規律の徹底と基礎・基本の定着を図る。
- ・ 主体的、対話的で深い学びの実現に向け、ICTを活用した授業実践を追究する。
- ・ 特別支援教育の視点を踏まえ、個に応じた指導の充実に努める。
- ・ 学校図書館司書やボランティア等と連携し、読書活動の充実を図る。

(3) 児童指導

- ・ 多様性を認め合える集団作りを目指して、児童一人一人が自分のよさを実感し、進んで活動したり

友達と協力して課題を解決したりする力を育む。

(4) 健康・体力

- ・ 自ら進んで健康・体力を高めようとする意欲の向上を図る。
- ・ 基礎的な体力・健康管理能力の向上を図る。
- ・ 食育を推進し、食を大切に作る心の育成を図る。
- ・ 家庭・域等と連携した児童の安全確保や、危険回避能力の向上を図る。

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評 価									
目指す児童の	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 ・ 児童・教職員の肯定的回答率 90%以上	○主体的，対話的で，深い学びの具現化を図る。 ・ 「問い・見通し，課題解決，まとめ・振り返り」を基本とした授業実践 ・ 自分の考えを見出せる場の工夫 ・ 友達と協力して学び合う場の設定	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 3</td><td>R 4</td></tr><tr><td>児 童</td><td>90.7</td><td>89.0</td></tr><tr><td>教職員</td><td>96.3</td><td>100</td></tr></table> ・ 教職員の肯定的回答割合は 100%であったが，児童の達成状況は下がっている。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて，全教職員で校内研修に取り組み，「できる・分かる」授業の実践をしてきた。 【次年度の方針】 ・ 宇都宮モデル「はっきり・じっくり・すっきり」の授業展開を実践し，分かりやすい授業づくりに努める。また，I C T機器を有効活用し，児童が積極的に意見交流できる場を意図的に設け，考えを伝え合う楽しさやよさが実感できるような授業や教育的活動の充実を図る。		R 3	R 4	児 童	90.7	89.0	教職員	96.3	100
		R 3	R 4										
児 童	90.7	89.0											
教職員	96.3	100											
	A 2 児童は，思いやりの心をもっている。 【数値指標】 ・ 児童・教職員の肯定的回答率 90%以上	○道徳や特別活動を通して自他のよさを認め合い豊かな心の育成を図る。 ・ 考え，議論する道徳の授業実践 ・ 学級活動，委員会・縦割り班活動，地域との交流活動の充実	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 3</td><td>R 4</td></tr><tr><td>児 童</td><td>94.2</td><td>88.6</td></tr><tr><td>教職員</td><td>96.3</td><td>100</td></tr></table> ・ 前年度よりも下回った。コロナ禍の中で交流活動が思うようにいかなかったことが要因の一つと思われる。 【次年度の方針】 ・ 学級の中での交流活動を充実させることを中心にして，引き続き活動を継続していく。 ・ 学級活動でエンカウンターを取り入れたり，帰りの会で互いを認め合ったりする活動を心がける。		R 3	R 4	児 童	94.2	88.6	教職員	96.3	100
	R 3	R 4											
児 童	94.2	88.6											
教職員	96.3	100											

姿	A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。	○集団生活のルールを守って安全に生活するための実践力の向上を図る。 ・「みゆきっ子生活スタンダード」の徹底 ・学年、学級による「きまりやマナー」、生活目標の指導 ・帰りの会や学級活動等での振り返り	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 3</td><td>R 4</td></tr><tr><td>児 童</td><td>85.7</td><td>82.6</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td>88.5</td></tr></table> ・児童、教職員とも指標を下回った。生活スタンダードを意識する機会が少なかった。		R 3	R 4	児 童	85.7	82.6	教職員	100	88.5					
		R 3		R 4														
	児 童	85.7		82.6														
教職員	100	88.5																
【数値指標】 ・児童・教職員の肯定的回答率 90%以上		【次年度の方針】 ・「みゆきっ子生活スタンダード」の振り返りを定期的に行い、日常的に意識できるようにする。																
A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。	○自分からあいさつできる実践力の向上を図る。 ・学級や児童会によるあいさつ運動の実施・ふりかえり（あいさつ週間、ポスター等） ・職員からの積極的なあいさつの励行、児童への賞賛 ・家庭や地域と連携したあいさつ運動の実施	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 3</td><td>R 4</td></tr><tr><td>児 童</td><td>90.7</td><td>90.5</td></tr><tr><td>教職員</td><td>85.2</td><td>84.6</td></tr><tr><td>保護者</td><td>80.1</td><td>73.6</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>90.0</td><td>100</td></tr></table> ・児童と地域住民の指標は達成されていた。教職員と保護者は指標を下回った。		R 3	R 4	児 童	90.7	90.5	教職員	85.2	84.6	保護者	80.1	73.6	地域住民	90.0	100
	R 3		R 4															
児 童	90.7		90.5															
教職員	85.2	84.6																
保護者	80.1	73.6																
地域住民	90.0	100																
【数値指標】 ・児童・教職員の肯定的回答率 90%以上 ・保護者・地域住民の肯定的回答率 80%以上		【次年度の方針】 ・あいさつ自体は向上していると思われるが、自分からあいさつができたという意識が低いので、あいさつできている子を称賛するとともに、相手に届く元気なあいさつの推進に継続的に取り組んでいく。 ・とくに来校した保護者の方や登校の際に旗登板をしてくださっている保護者へのあいさつを意識できるようにしていく。																
A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。	○目標を設定して取り組ませる指導を行う。 ・児童のよさを認め励ます指導の徹底 ・学期や年間の個人目標や学級目標の設定と振り返り ・学年ごとの設定目標やステップアップシート（年5回）の実施 ・キャリアパスポートや元気っ子ファイルの有効活用	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 3</td><td>R 4</td></tr><tr><td>児 童</td><td>89.0</td><td>89.0</td></tr><tr><td>教職員</td><td>96.3</td><td>100</td></tr><tr><td>保護者</td><td>81.4</td><td>74.2</td></tr></table> ・児童と教職員の指標は達成された。保護者は指標を下回っている。		R 3	R 4	児 童	89.0	89.0	教職員	96.3	100	保護者	81.4	74.2			
	R 3		R 4															
児 童	89.0		89.0															
教職員	96.3	100																
保護者	81.4	74.2																
【数値指標】 ・児童・教職員・保護者の肯定的回答率 85%以上		【今年度の方針】 ・学期や年間の個人目標や学級目標を振り返り、目標を達成できた喜びや自分の成長を実感できる機会を設けていく。また、キャリアパスポートを有効に活用し、保護者から励ましの言葉を書いてもらうなど、理解と協力を図っていく。 ・教師は「よさ」を認めながら、主体的な取組を評価し、達成感や成就感を児童に味わわせるようにしていく。																

A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 児童・教職員・保護者の肯定的回答率 90%以上	○健康・運動への意欲の向上を図る。 - 外遊びやサーキットトレーニング、スポーツウィークの推奨 - 感染症対策の徹底を含めた家庭と連携した健康への意識の高揚 - 養護教諭と連携した保健指導 ○望ましい食習慣づくりを推進する。 - おにぎりの日とお弁当の日の実施 - 栄養士と連携した給食指導の充実 ○安全意識の向上を図る - 避難訓練や交通安全教室を通じた対応力や危険回避能力の育成 - 一斉下校時の指導の充実	【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th></th><th>R 3</th><th>R 4</th></tr> <tr> <td>児 童</td><td>91.8</td><td>92.7</td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>92.6</td><td>96.2</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>90.2</td><td>90.0</td></tr> </table> ・サーキットトレーニングやスポーツウィーク、お弁当の日の実施などが充実し、自分の体力や健康を意識する児童が増えた。数値も前年度より上がっている。 【次年度の方針】 ・サーキットトレーニングやスポーツウィーク、お弁当の日を今後も充実させる。また、交通安全については、家庭と情報を共有し安全指導を徹底していく。		R 3	R 4	児 童	91.8	92.7	教職員	92.6	96.2	保護者	90.2	90.0
	R 3	R 4												
児 童	91.8	92.7												
教職員	92.6	96.2												
保護者	90.2	90.0												
A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるように努力している。 【数値指標】 児童・教職員・保護者の肯定的回答率 85%以上	○キャリア教育や特別活動の充実に努める。 - 道徳や特別活動を通じた自己肯定感の育成 - 出前授業や見学・体験学習の充実 - 家庭と連携したキャリアパスポートの蓄積	【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th></th><th>R 3</th><th>R 4</th></tr> <tr> <td>児 童</td><td>89.0</td><td>89.0</td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>96.3</td><td>74.2</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>81.4</td><td>100</td></tr> </table> ・学期の始めと学期末、運動会などの行事の際に目標設定と振り返りをさせ、めあてをもって取り組む意義と自己達成感を実感できるようにし、実践してきた。 【次年度の方針】 - 教科等とキャリア教育と関連付け、キャリアパスポートを活用し、家庭と連携し推進していく。 「生活科」や「総合的な学習の時間」の内容の見直しを図る。 - 図書室とタブレットを利用し仕事を知る機会を増やす。		R 3	R 4	児 童	89.0	89.0	教職員	96.3	74.2	保護者	81.4	100
	R 3	R 4												
児 童	89.0	89.0												
教職員	96.3	74.2												
保護者	81.4	100												
A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 児童・教職員の肯定的回答率 85%以上	○英語に親しみ積極的にコミュニケーションをとろうとする態度を育てる。 - ALT と連携した授業の充実 - 英語に親しむ環境整備 - 日常生活における ALT との交流機会の充実	【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th></th><th>R 3</th><th>R 4</th></tr> <tr> <td>児 童</td><td>89.3</td><td>86.8</td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>88.9</td><td>100</td></tr> </table> ・教職員の肯定的回答の割合は 100%であった。児童の達成状況は、数値指標は上回っているが、昨年度よりも下がっている。 【次年度の方針】 ・ALT は授業だけでなく、休み時間の遊びや清掃活動などでも積極的に児童にかかわり、コミュニケーションの場を広げている。言語活動の形態を工夫しながら、授業の充実を図っていくとともに、学校生活の中でも ALT と交流ができる機会を設けていく。		R 3	R 4	児 童	89.3	86.8	教職員	88.9	100			
	R 3	R 4												
児 童	89.3	86.8												
教職員	88.9	100												

A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 児童・教職員・保護者の肯定的回答率 80%以上	○教科や総合的な学習の時間で、御幸地区や宇都宮の特長を考えさせる指導に努める。 - 宇都宮学の確実な実施 - 地域の歴史や文化、食などの地域資源や人材を生かした教育活動の充実	【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th></th><th>R 3</th><th>R 4</th></tr> <tr> <td>児 童</td><td>81.9</td><td>87.4</td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>92.6</td><td>96.2</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>66.2</td><td>70.1</td></tr> </table> ・全校児童に宇都宮市のよいところを書いてもらい、掲示したことで、宇都宮の興味・関心にもつながった。ただ、その様子を保護者に伝えきれていない様子も見られる。 【次年度の方針】 社会や総合的な学習等で宇都宮のよさにふれる授業を保護者の協力も得ながら進めていくように心がける。		R 3	R 4	児 童	81.9	87.4	教職員	92.6	96.2	保護者	66.2	70.1
	R 3	R 4												
児 童	81.9	87.4												
教職員	92.6	96.2												
保護者	66.2	70.1												
A 10 児童は、I C T機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 児童・教職員・保護者の肯定的回答率 85%以上	○積極的に活用した学習機会の充実に努める。 - 学年や教科に応じた効果的な活用 - 児童の情報活用能力の育成 - 図書室の活用と図書館司書との連携	【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th></th><th>R 3</th><th>R 4</th></tr> <tr> <td>児 童</td><td>88.7</td><td>89.0</td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>90.8</td><td>83.2</td></tr> </table> ・保護者の達成状況が、数値指標の 85%を下回った。タブレットを活用した授業は、どの学年・学級も実施しており、学校全体で ICT 活用に取り組むことができた。 【次年度の方針】 - 図書館司書と連携を図り、調べ学習に必要な図書資料を準備したり、資料の活用の仕方について支援したりしていく。 - 調べ学習だけでなく、一人一人の考えを理解したり、伝え合ったりする活動においても I C T 機器を効果的に活用していく。		R 3	R 4	児 童	88.7	89.0	教職員	100	100	保護者	90.8	83.2
	R 3	R 4												
児 童	88.7	89.0												
教職員	100	100												
保護者	90.8	83.2												
A 11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 児童・教職員の肯定的回答率 90%以上	○高齢者への思いやりや交流機会の充実に努める。 - 教科や道徳での指導の充実 - 学校行事等での交流	【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th></th><th>R 3</th><th>R 4</th></tr> <tr> <td>児 童</td><td>94.2</td><td>88.6</td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>96.3</td><td>100</td></tr> </table> ・交流会は中止となったが、教育活動全体を通して思いやりの気持ちを育んできた。 【次年度の方針】 コロナ禍の中で、感染対策を講じながら交流できる方法を模索しながら、全学年で満遍なく交流の機会を確保できるよう取り組んでいく。		R 3	R 4	児 童	94.2	88.6	教職員	96.3	100			
	R 3	R 4												
児 童	94.2	88.6												
教職員	96.3	100												
A 12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 児童・教職員の肯定的回答率 85%以上	○学年に応じて環境や平和など、持続可能な社会との関連を考える機会を設ける。 - 教科や総合的な学習の時間のテーマとの関連 - 校内掲示や各種たより等での啓発	【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th></th><th>R 3</th><th>R 4</th></tr> <tr> <td>児 童</td><td>90.4</td><td>88.6</td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>77.8</td><td>88.5</td></tr> </table> ・掲示物など環境の充実が図られ、学習や生活の中で意識する機会が増えた。 【次年度の方針】 引き続き図書資料や校内掲示の充実を図り、環境や平和に関する事柄に触れたり、持続可能な社会について考えたりできる機会を増やす。		R 3	R 4	児 童	90.4	88.6	教職員	77.8	88.5			
	R 3	R 4												
児 童	90.4	88.6												
教職員	77.8	88.5												

目 指 す 学 校 の 姿	A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 ・教職員の肯定的回答率 90%以上	○児童の実態の把握と個に応じた指導の充実に努める。 ・日頃からの児童に係る情報共有 ・特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援委員会やケース会議等での組織的な対応 ・保護者や関係機関との連携	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 3</td><td>R 4</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td>100</td></tr></table> ・校内支援委員会やケース会議を随時実施し、全教職員で共通理解を図り、実施することができた。 【今年度の方針】 ・引き続き、全教職員が共感的理解に基づく指導ができるよう、校内研修等を通して指導力の向上に努めていく。		R 3	R 4	教職員	100	100								
		R 3	R 4															
	教職員	100	100															
	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 ・児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答率 90%以上	○いじめ防止への意識の高揚と適切な対応に努める。 ・「いじめ」をテーマにした道徳の授業 ・学校・学年だよりによる情報発信 ・委員会でのいじめ防止集会等の実施 ・いじめ0標語やポスター制作・掲示 ・教育相談やアンケート（年4回）実施 ・保護者の考えるいじめ0標語の募集・掲示	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 3</td><td>R 4</td></tr><tr><td>児 童</td><td>96.7</td><td>97.5</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>保護者</td><td>81.9</td><td>84.7</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100</td><td>100</td></tr></table> ・児童、教職員、保護者、地域住民とも 100%もしくは、指標が上昇している。いじめ防止については、道徳や学級活動で 取り上げ、児童会による呼びかけなど児童からの働きかけが効果的にできた。 【次年度の方針】 ・引き続き、いじめ防止への意識の高揚につながる活動を充実させる。 ・「思いやり」「協力」「団結」「あいさつ」等、いじめ防止につながる活動をすべての委員会で実施していく。		R 3	R 4	児 童	96.7	97.5	教職員	100	100	保護者	81.9	84.7	地域住民	100
	R 3	R 4																
児 童	96.7	97.5																
教職員	100	100																
保護者	81.9	84.7																
地域住民	100	100																
A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 ・児童・教職員・保護者の肯定的回答率 85%以上	○児童の実態の把握と児童の自己肯定感の向上に努める。 ・Q・Uや教育相談の結果を生かした不登校傾向の早期発見や早期対応 ・児童のよさを認め励ます指導の充実	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 3</td><td>R 4</td></tr><tr><td>児 童</td><td>96.2</td><td>95.9</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>保護者</td><td>92.3</td><td>90.2</td></tr></table> ・指標を上回った。職員間の情報交換が生かされ、早期発見の対応に努めた。不登校については、不登校傾向が見られた時点から早期に保護者と連絡を取り合うなどの対応に努めてきた。 【次年度の方針】 ・引き続き、定期的なQ Uや教育相談を実施し、児童の状況を把握しながら対応に努めた。 ・さらに情報交換を密にし、学校全体で児童の実態の把握に努める。		R 3	R 4	児 童	96.2	95.9	教職員	100	100	保護者	92.3	90.2			
	R 3	R 4																
児 童	96.2	95.9																
教職員	100	100																
保護者	92.3	90.2																
A16 教職員は、外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 ・教職員の肯定的回答率 90%以上	○外国人児童に必要な支援の在り方を共有し指導にあたる。 ・学級担任と外国語指導教員との連携 ・保護者とのコミュニケーションによる信頼関係の構築	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 3</td><td>R 4</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td>100</td></tr></table> ・達成状況は 100%であった。外国語指導教員と学級担任、保護者と連携を取りながら学習指導や支援に努めた。 【次年度の方針】 ・引き続き、学級担任・外国語指導教員が保護者と連携を図りながら、児童の実態に応じて適切な支援をしていく。		R 3	R 4	教職員	100	100									
	R 3	R 4																
教職員	100	100																

A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 ・児童・保護者の肯定的回答率 90%以上	○児童のよさを認めたり児童の主体的な活動の充実に努めたりする。 ・児童のよさへの積極的な賞賛 ・各種委員会、児童会、縦割り班等で児童を主体とした活動の充実	B 【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th></th><th>R 3</th><th>R 4</th></tr> <tr> <td>児 童</td><td>88.5</td><td>87.4</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>91.5</td><td>89.8</td></tr> </table> ・委員会や児童会活動など、児童が主体的に活動する機会は増えてきたが、児童、保護者とも微減し、達成状況に届かなかった。 【次年度の方針】 ・コロナ禍の限られた機会ではあったが、児童は学習や遊び、学校生活全般に明るくいいきと取り組む機会をより多く設ける。児童一人一人に寄り添いながら、継続した取り組みを実践していく。		R 3	R 4	児 童	88.5	87.4	保護者	91.5	89.8
	R 3	R 4									
児 童	88.5	87.4									
保護者	91.5	89.8									
A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 ・児童・保護者の肯定的回答率 90%以上	○授業のねらいや手立てを明確にし、個に応じた指導の充実に努める。 ・教材研究と個々の実態に即した支援の工夫 ・習熟度別学習、少人数指導の充実 ・かがやきルーム担当教員、特別支援学級担任との組織的な連携	B 【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th></th><th>R 3</th><th>R 4</th></tr> <tr> <td>児 童</td><td>96.4</td><td>97.5</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>85.8</td><td>86.8</td></tr> </table> ・児童・保護者の肯定的回答ともに数値指標を上回り、達成状況は微増した。 【次年度の方針】 ・かがやきルーム担当教員、少人数指導担当教員と連携を取りながら、支援が必要な児童の特性に合わせた指導を行っていく。 ・習熟度別学習や T.T 学習が効果的に実施できるよう、ICT教材の活用や授業力向上の研修、個別の支援や手立てなど、全校体制で研修に取り組み、きめ細やかな指導を充実させていく。		R 3	R 4	児 童	96.4	97.5	保護者	85.8	86.8
	R 3	R 4									
児 童	96.4	97.5									
保護者	85.8	86.8									
A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 ・教職員の肯定的回答率 90%以上	○教職員の良好な人間関係作りに努め、組織力の向上を図る。 ・教職員間の情報共有と風通しのよい職場環境づくり ・多様な専門性を有するスタッフとの連携協力	B 【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th></th><th>R 3</th><th>R 4</th></tr> <tr> <td>教職員</td><td>96.3</td><td>96.2</td></tr> </table> ・職員間のコミュニケーションを大切にし、養護や栄養、司書等の専門的な立場の職員とも連携を図りながら業務に取り組むことができた。 【次年度の方針】 ・体育や情報など活動する機会が多い部会を中心に、今までより機能するように努めていく。		R 3	R 4	教職員	96.3	96.2			
	R 3	R 4									
教職員	96.3	96.2									
A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 ・教職員の肯定的回答率 80%以上	○学校の運営の見直しや行事等の実施方法の改善を行う。 ・会議や打合せの効率化、行事の精選 ・ネットワークシステムの活用など効率的な職務執行 ・リフレッシュウィーク（月1回）実施	B 【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th></th><th>R 3</th><th>R 4</th></tr> <tr> <td>教職員</td><td>55.6</td><td>88.5</td></tr> </table> ・リフレッシュ day を設けたことや、会議の時間配分を明記したことなどが教職員の意識改革につながった。また、ICTも有効に活用し効率化を図ることができた。 【次年度の方針】 ・今年度以上に、ICTを校務に有効に活用したり、学校運営や行事、校務分掌の見直しを図ったりするなど、業務改善に取り組んでいく。		R 3	R 4	教職員	55.6	88.5			
	R 3	R 4									
教職員	55.6	88.5									

A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 ・教職員・保護者の肯定的回答率 80%以上	○小中一貫・地域学校園の取組を効果的に実施する。 ・あいさつ運動、乗り入れ授業等の実施 ・中学校訪問や宮っ子チャレンジでの中学生との交流活動の実施。 ・各種だよりやHPでの情報発信	B 【達成状況】 <table border="1"> <tr> <td></td><td>R 3</td><td>R 4</td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>66.7</td><td>96.1</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>77.1</td><td>74.8</td></tr> </table> ・宮っ子チャレンジでの中学生との交流やあいさつ運動、地域学校園間での話し合いや情報共有などが充実し、教職員の数値は上がったものの、保護者の数値は減少している。 【次年度の方針】 ・継続したあいさつ運動や、乗り入れ授業、宮っ子チャレンジを実施し、地域学校園での取り組みを充実させていく。 ・各種だよりやHPでの情報発信を継続して行う。		R 3	R 4	教職員	66.7	96.1	保護者	77.1	74.8
	R 3	R 4									
教職員	66.7	96.1									
保護者	77.1	74.8									
A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 ・保護者・地域住民の肯定的回答率 90%以上。	○地域協議会と連携・協働し、教育活動の充実に努める。 ・地域資源を活用した活動の充実 ・地域協議会コーディネーターとの連携やボランティア活動の新規拡充 ・各種便りやHPなどでの情報発信	B 【達成状況】 <table border="1"> <tr> <td></td><td>R 3</td><td>R 4</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>88.7</td><td>88.4</td></tr> <tr> <td>地域住民</td><td>90.9</td><td>100</td></tr> </table> ・創立50周年があり、昨年度以上に地域協議会とも連携を図りながら教育活動を進めることができた。さらには、学習支援ボランティアの活動を見直したり拡充したりすることができた。 【次年度の方針】 ・さくら連絡網やホームページ、各種便りを有効に活用して、より充実した人材・施設の活用を図っていく。		R 3	R 4	保護者	88.7	88.4	地域住民	90.9	100
	R 3	R 4									
保護者	88.7	88.4									
地域住民	90.9	100									
A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 ・保護者・地域住民の肯定的回答 90%以上	○地域の人材や企業と連携した教育活動の充実 ・生活科、総合的な学習の時間、社会科等における校外学習やリモート学習、出前授業等の実施 ・あいさつ運動等、地域と連携した活動の実施	B 【達成状況】 <table border="1"> <tr> <td></td><td>R 3</td><td>R 4</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>88.7</td><td>88.4</td></tr> <tr> <td>地域住民</td><td>90.9</td><td>100</td></tr> </table> ・感染状況を見ながら、地域の行事が行われるようになり、児童も意欲的に参加している。あいさつ運動等、地域と連携した活動も充実し、地域住民の数値は100%であった。 【次年度の方針】 ・地域の行事や企業と連携した教育活動の充実を図る。		R 3	R 4	保護者	88.7	88.4	地域住民	90.9	100
	R 3	R 4									
保護者	88.7	88.4									
地域住民	90.9	100									
A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 ・保護者・地域住民の肯定的回答率 90%以上	○安心・安全な環境づくりに努める。 ・毎月の安全点検等での危険箇所や修繕箇所の把握及び迅速な対応 ・修繕箇所の把握と計画的な修繕 ・構内での安全確保に関する情報提供や注意喚起	B 【達成状況】 <table border="1"> <tr> <td></td><td>R 3</td><td>R 4</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>90.8</td><td>93</td></tr> <tr> <td>地域住民</td><td>100</td><td>100</td></tr> </table> ・定期的に安全点検を実施することにより、修繕箇所や危険箇所の早期発見や早期改善を適切に行うことができた。 【次年度の方針】 ・次年度も引き続き、日々の確認や定期的な安全点検を確実にやっていく。		R 3	R 4	保護者	90.8	93	地域住民	100	100
	R 3	R 4									
保護者	90.8	93									
地域住民	100	100									

本校の特色・課題等	A25 学校は、学習に必要な I C T 機器や図書等を整えている。 【数値指標】 ・教職員の肯定的回答率 85%以上	○機器や図書の整理，確認及び有効活用を図る。 ・定期的な点検や整備の実施 ・効果的な I C T 活用や図書活用に係る研修の実施	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 3</td><td>R 4</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td>100</td></tr></table> ・教職員の達成状況は 100%となっている。 【次年度の方針】 ・I C T 機器や図書資料について，学習の場面で効果的に活用できる様々な取組を実践していく。 ・I C T 機能を高めるため，周辺機器の整備とともに，有効に活用するための研修の充実を図る。		R 3	R 4	教職員	100	100					
		R 3	R 4											
	教職員	100	100											
	B1 児童は、授業中や集会等に教師や友達の話に耳を傾け，しっかりと聞いている。 【数値指標】 ・児童・教職員の肯定的回答率 90%以上	○授業中や集会等では，学年に応じた聞き方を指導する。 低学年：友達の考えを聞く 中学年：友達の考えをうなずきながら聞く。 高学年：友達の考えを比べながら聞く。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 3</td><td>R 4</td></tr><tr><td>児 童</td><td>92.6</td><td>89.6</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td>100</td></tr></table> ・児童の指標が下がり，数値指標を下回った。授業中に話を聞くことを意識させることはできるが，集会など感染症対応で校内放送が主で，お互いの良い姿から学ぶ機会が少なかったことも要因の一つと考えられる。 【次年度の方針】 ・集団生活の中で基本的な話の聞き方の定着を図る。みゆきっ子学習の約束を意識した生活ができるようにする。		R 3	R 4	児 童	92.6	89.6	教職員	100	100		
	R 3	R 4												
児 童	92.6	89.6												
教職員	100	100												
B2 児童は、授業中や集会等に、自分の考えを話すことができる。 【数値指標】新規 ・児童・教職員の肯定的回答率 90%以上	○授業中や集会等では，学年に応じた話し方を指導する。 低学年：自分の考えを話す。 中学年：自分の考えを進んで話す。 高学年：自分の考えを進んで話す。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 3</td><td>R 4</td></tr><tr><td>児 童</td><td>67.9</td><td>70</td></tr><tr><td>教職員</td><td>92.6</td><td>88.5</td></tr></table> ・朝のスピーチやペア・グループ学習を行うなど，昨年より人前で話す機会が多くなった。 【次年度の方針】 ・話しやすい学級の雰囲気作りにも努めるとともに，ペアやグループでの話し合い活動の充実を図っていく。 ・児童会活動では，Meet だけではなく，体育館のステージで発表する機会を設けていく。		R 3	R 4	児 童	67.9	70	教職員	92.6	88.5			
	R 3	R 4												
児 童	67.9	70												
教職員	92.6	88.5												
B3 児童は自分のよさを理解し，より伸ばそうとしている。 【数値指標】新規 ・児童・教職員・保護者の肯定的回答率 80%以上	○児童のよさを認め励ます指導の充実に努めたり，互いのよさを認め合う機会の充実に努め，個々の自己肯定感の向上を図る。 ・帰りの会・学級活動などで互いのよさを認め合える機会の設定 ・各教科の学習活動での学び合いの場の設定 ・縦割り班活動の充実	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 3</td><td>R 4</td></tr><tr><td>児 童</td><td>76.4</td><td>81.1</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>保護者</td><td>93.5</td><td>91.2</td></tr></table> ・児童の達成状況は向上が見られたが，保護者の肯定的回答は微減している。 【次年度の方針】 ・学年・学級での教育活動や行事ごとに個々の目標を設定し，自己評価をしていくスタイルを，通年で継続的に続けてきたことが評価されたと考える。今年度も継続的な取組を進めていく。		R 3	R 4	児 童	76.4	81.1	教職員	100	100	保護者	93.5	91.2
	R 3	R 4												
児 童	76.4	81.1												
教職員	100	100												
保護者	93.5	91.2												

B 4 学校は読書活動を積極的に推進している。 【数値指標】 ・教職員・保護者・児童の肯定的回答率 90%以上	○図書室利用を活性化するため、多様なジャンルの本に触れる機会をつくる。 ・司書によるブックトークやボランティアによるお話会 ・各種イベントの実施 ○読書ファイルの活用や学年だより、図書だより等での呼びかけや家読の取組など、家庭での読書を奨励する。	【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th></th><th>R 3</th><th>R 4</th></tr> <tr> <td>児 童</td><td></td><td>76.3</td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>90.5</td><td>93.2</td></tr> </table> ・昨年度実施したイベントの他に、お話給食を実施するなど、読書の楽しさを味わう機会を多く設けた。家読では、家庭の協力を得られることができた。 【次年度の方針】 ・次年度も引き続き、児童に親しみやすい企画を展開していく。さらには、休み時間の図書室の利用が少ない状況なので、教師が声掛けをしたり委員会から利用を促したりしていく。		R 3	R 4	児 童		76.3	教職員	100	100	保護者	90.5	93.2
	R 3	R 4												
児 童		76.3												
教職員	100	100												
保護者	90.5	93.2												
B 5 児童は、ステップアップシートや朝の学習タイムに積極的に取り組んでいる。 【数値指標】 ・児童・保護者の肯定的回答率 85%以上	○ステップアップシートや朝の学習タイムを活用して、基礎的・基本的な学力の定着を図る。 ・年5回ステップアップシートに向けて自主的に学習に取り組めるようにする。 ・A I ドリルの計画的な実施と活用	【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th></th><th>R 3</th><th>R 4</th></tr> <tr> <td>児 童</td><td>80.5</td><td>78.2</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>87.2</td><td>89.0</td></tr> </table> ・保護者の達成状況は微増、児童は微減している。 【次年度の方針】 ・漢字・計算力を高め、既習内容の確実な定着のために、AI ドリルやステップアップシートを有効に活用し、基礎・基本の力をさらに高めていく。また、児童が意欲的に学習に取り組めるように、スクールタクトなどタブレットを使った教材や学習形態を工夫し、分かる授業を展開していく。		R 3	R 4	児 童	80.5	78.2	保護者	87.2	89.0			
	R 3	R 4												
児 童	80.5	78.2												
保護者	87.2	89.0												

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印、または下線を付ける。

1 めざす児童像の姿（A 1～A12）

- ・A 4の「あいさつ」については、児童一人一人はあいさつをしていると思っているが、相手からあいさつをされて会釈を帰すなど、実際には自ら進んであいさつできているケースは少なかった。相手に届く元気なあいさつの推進に引き続き取り組んでいく。
- ・A 9の「宇都宮の良さを知っている」の肯定的回答は、児童・教職員・保護者ともに増加している。全校児童に宇都宮市の良いところを書いてもらい、校内に掲示したことで、宇都宮市への興味・関心にもつながった。社会や総合的な学習等で宇都宮の良さにふれる授業を、保護者の協力も得ながら進めていく。
- ・A11の「高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている」では、児童の肯定的回答が低下している。コロナ化で交流会の中止が続いているが、次年度は学校に隣接するコミュニティセンターで行っていた高齢者と児童との交流会を復活させるなど、ふれあう機会を増やしていく。

2 めざす教職員・学校像の姿（A13～A25）

- ・A14の「いじめが許されない行為であることの指導」については、児童・保護者・教職員・地域住民とも肯定的回答が増加した。いじめ防止については、道徳や学級活動で取り上げる他、児童会主催の「いじめゼロ集会」でも呼びかけるなど児童自らの働きかけが効果的にできた。
- ・A20の勤務管理については、職職員の肯定的回答が約33%も増加した。リフレッシュ day を設けたことや、会議の時間配分の明記、ICTを校務に有効に活用したことによる業務改善が結果に表れたと考えられる。

3 本校の特色

- ・B 2の「自分の考えを話す」やB 3の「自分の良さを理解し、伸ばそうとしている」については、児童の肯定的回答が増加している。朝のスピーチやペアグループ学習を行うなど、人前で話す機会を増やしたことと、教育活動や行事ごとに個々の児童に目標を設定させ、自己評価しているスタイルが定着してきたと思われる。教職員にも折にふれて、児童のよさを認め、褒めるなど声かけを呼びかけている。

7 学校関係者評価

- ・あいさつ運動の取組はとてもよいが、児童から積極的にあいさつができるとさらにより。
- ・児童の絵画や書道等，子ども児童の成果が目目の当たりに見られる掲示物が充実していてよい。宇都宮学コーナーも驚きで凄い。
- ・コロナ前までコミセンで実施していた「高齢者との交流会」はぜひ復活させてほしい。
- ・「いじめゼロ集会」等の取組は，とても良いと思う。次年度も継続してほしい。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印，または下線を付ける。

学校関係者評価を踏まえ，次年度の教育活動については，新型コロナウイルス感染予防に努めながら，さらなる充実に努めていく。

- ・宇都宮モデル「はっきり・じっくり・すっきり」の授業展開を実践し，分かりやすい授業づくりに努める。
 - ・「みゆきっ子生活スタンダード」の振り返りを定期的に行い，きまりやマナーを守って生活することへの意識を日常的に培っていく。
 - ・相手に届く元気なあいさつが実践できるよう，児童主体の「あいさつ運動」を推進していく。
- キャリアパスポートを有効に活用して，保護者から励ましの言葉を書いてもらうなどの協力を得ながら，目標をもって取り組む児童の増加につなげていく。
- ・学校は，地域の行事や企業と連携した教育活動の充実に努めていく。
 - ・学習指導については，I C Tの活用や情報モラルの育成に努めながら，主体的，対話的で深い学びの実現を目指して授業改善に取り組むとともに，ペアやグループでの話し合い活動の充実に努めることで，自分の考えを主体的に伝えられる児童の育成に努める。
 - ・漢字・計算力を高めるために，AIドリルやステップアップシートを有効に活用したり，基礎・基本の力をさらに高めていくために，朝の学習を充実させたりする。